

こあら組

— 3学期の目標 —

- ◎ ルールのある遊び等、友だちと関わりながら様々な遊びを楽しむ
- ◎ 一人ひとりの発達に合わせながら、トイレトレーニングや衣服の着脱等自分でできることを増やし、自信を持てるようにする

— 活動内容 —

果樹園を作ったよ！

(健康な心と体、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い、数量や図形、言葉による伝え合い)

- ・ 色画用紙を両面テープを剥がして輪っかになるように貼る製作をした。出来上がったりんごを見て「ぱくっ」と食べる真似をして楽しんでいた。
- ・ 紙の輪っかに紐を通して、ぶどうを作った。初めて紐を通す活動をしたが、ほとんど自分で指先を使って紐を通すことができていた。紐を通すことが難しい子どももいたが、一緒に手伝いながら通すことができた。
- ・ 飾っている友だちの作品を見て、「これ誰の？」「○○ちゃんが作ったの？」など、お互いの作品を見ていた。
- ・ 自由遊びの時に、友だちに「かして」と言われると、まだ遊びたい気持ちから葛藤をするが、「いいよ」や「まって」など自分の言葉で伝えられるようになってきた。
- ・ 友だちと一緒に山を探検したり、友だち同士で絵本を読み聞かせようとするなど関わり方の幅が広がってきた。



こんなことができるよ！

(健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い)

- ・ 登園してきてすぐに朝の身支度を終わらせ、室内での自由遊びを楽しんだり次に登園してくる友達に「おはよう」と挨拶することが習慣化してきた。
- ・ 周りをよく見るようになり、おたより帳のかごやおしぼり入れのかご等、保育者の手伝いを進んでしようとする。
- ・ 新しくパンツに挑戦する子どももおり、自信がついて嬉しそうに自分でパンツを履くのが早くなってきた。
- ・ 3学期後半から次のクラスへの準備に向けて座る椅子を円になるように並べて礼拝をすると、背筋を伸ばしたり大きな声で返事をするなど、期待感を持ち始めている。
- ・ 友だちのたくさん食べる姿を見て、苦手な野菜に挑戦したり、一口の量が大きくなって食べる量が増えてきた。
- ・ 食べ終わった食器を一つずつ自分で運んで片づけられるようになってきた。



— 3学期の反省 —

- ・ ほとんどの子どもが自分の身の回りのことを自分でできるようになってきた。又、もっと「自分でやりたい」という気持ちが出てきて、自分の身の回りだけでなく保育者の手伝いを進んでしようとする姿も見られ始めた。
- ・ 遊びや一日の流れの中で友だちとのやり取りが増え遊びの幅も広がってきたが、思うように言葉で伝えることができずそれぞれの思いがぶつかり合うことがあった。

— 年間の反省 —

- ・ 一年を通して、自分でズボンやパンツの着脱など身支度ができるようになってきた。トイレトレーニングでは、ほとんどの子どもがパンツを履いて過ごせるようになってきたが、まだ感覚が掴めていない子どももいるので、より個別の援助を考える必要があった。